

# 徳島県における水道事業の 広域化について

徳島県危機管理部  
消費者くらし安全局安全衛生課長  
山根泰典



# 徳島県の水道の現況

## 徳島県の水道事業体の種類

(平成28年3月31日現在)

■ ■ 上水道 19箇所  
■ 簡易水道 118箇所

### 上水道

徳島市	鳴門市	阿南市	吉野川市
小松島市	石井町	阿波市	美馬市
松茂町	北島町	三好市	美波町
藍住町	板野町	牟岐町	海陽町
上板町		つるぎ町	東みよし町

(9市町)

### 簡易水道

勝浦町 上勝町  
 佐那河内村  
 神山町 那賀町

(5町村)

## 給水人口

行政区域内人口	現在給水人口		
	751,615人	728,072人 (普及率96.9%)	上水道 656,987人 (87.3%) 簡易水道 50,454人 (6.6%) 専用水道 23,555人 (3.1%)

## 水源の内訳

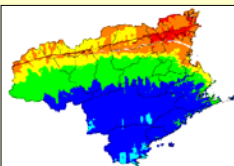
水源別内訳	量	割合
河川水	134,934m <sup>3</sup> /日	(44.7%)
地下水	158,861 "	(52.7%)
その他	7,616 "	(2.5%)
(内早明浦ダム依存量106,526m <sup>3</sup> /日(35.3%))		



# 徳島県における水道事業の広域化について

## 現 状

- 人口減少による料金収入の減少
- 水道施設の老朽化による更新需要の増加
- 中央構造線・活断層地震 直後の断水率：**75%**
- 南海トラフ巨大地震 直後の断水率：**92%**
- 重要給水施設基幹管路耐震化適合率：**32%**(H27年度末)



■ 震度 7 ■ 震度 6 強 ■ 震度 6 弱  
■ 震度 5 強 ■ 震度 5 弱 ■ 震度 4

中央構造線・活断層地震  
震度分布図

## 課 題

- 水道事業者の経営基盤の強化
- 大規模な自然災害への早急な対応



東日本震災時の継手離脱



水道管の漏水事故

出典：厚生労働省

## 国の動き

- 「新水道ビジョン」を策定(H25.3)し、水道事業の広域連携を推進
- 広域連携の方向性を提示(総務省通知H28.2, 厚労省通知H28.3)

安全・安心な水道を将来にわたって維持し、持続的な供給体制を確保するため、「徳島県水道ビジョン」を策定

<徳島県水道ビジョン策定に係る取組み>

- ① 水道事業の現況及び現状での課題を分析評価
- ② 水道のあるべき姿と基本理念・基本目標等の策定
  - 広域連携や官民連携の推進(コンセッションの導入等)
- ③ 広域連携のあり方を分析評価
  - 水道事業者ごとの水道料金や財政収支の見通しについて分析評価
  - 分析評価結果に基づき、広域連携のあり方を示し、安全・安心な水道像を明確化



耐震管による施設の強靱化

出典：大阪市



施設の再構築による経営基盤の強化

出典：厚生労働省

推進体制：H29.3「水道事業のあり方研究会」設置 → 「水道事業広域連携検討協議会(仮称)」設置を目指す

目指す姿

大規模災害を迎え撃つ 「安全」・「強靱」・「持続可能」 な水道事業の構築

徳島県安全衛生課